

# 令和3年7月5日～7月11日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和3年度第10報)

## 1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

この期間の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、「警戒」を示す25以上が続き、「厳重警戒」を示す28以上となる日もありました。6都市の10年間平均値と比較すると、本期間の前半はやや高く、半ばはやや低く、後半は10年間平均値より1.5程度高くなりました(図1、表1参照)。

11都市(注2)では、札幌以外は25以上の日があり、大阪、広島、高知、福岡、鹿児島は「厳重警戒」を示す28以上、東京、名古屋、那覇では「危険」を示す31以上となる日がありました(表1、表2参照)。

全国を見ると、全国的に25以上、東北地方以南で28以上、関東地方以南で31以上となる日がありました。

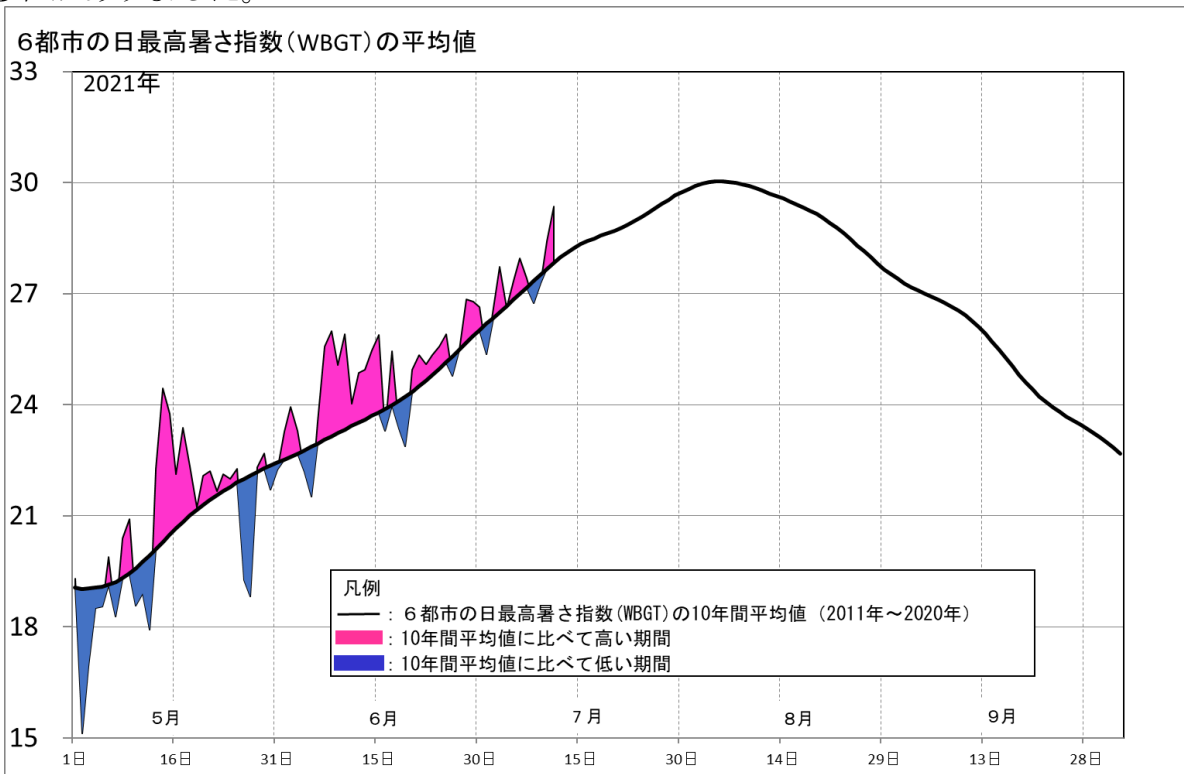


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT)(7月5日～7月11日)(注3)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市平均
5	20.6	25.9	24.4	25.4	28.6	27.9	27.5	29.9	30.3	30.4	30.8	27.4
6	22.2	26.4	25.6	30.0	27.3	30.0	26.0	29.7	28.8	30.2	31.1	28.0
7	21.0	22.0	23.9	29.1	25.9	26.4	29.1	30.1	30.1	30.7	31.7	27.4
8	23.9	22.3	26.5	24.7	25.5	27.4	27.5	27.7	28.9	30.1	30.3	26.8
9	22.1	21.9	26.5	25.0	31.5	28.6	24.1	27.5	28.0	29.8	30.9	27.3
10	22.0	23.7	27.4	31.5	30.5	27.8	25.9	27.8	27.4	26.4	31.0	28.4
11	23.5	25.1	27.4	31.5	30.7	28.4	27.7	29.3	30.4	30.1	31.6	29.4

(注1) 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

(注2) 11都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

(注3) 表1、表2の値は速報値であり、年末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の7月5日～7月11日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	0	0	7	1	0	0	0	0	0	8
28以上	0	0	0	19	18	6	1	32	23	46	72
25以上	0	8	19	41	78	93	51	135	136	124	168

ほぼ安全	注意	警戒	厳重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

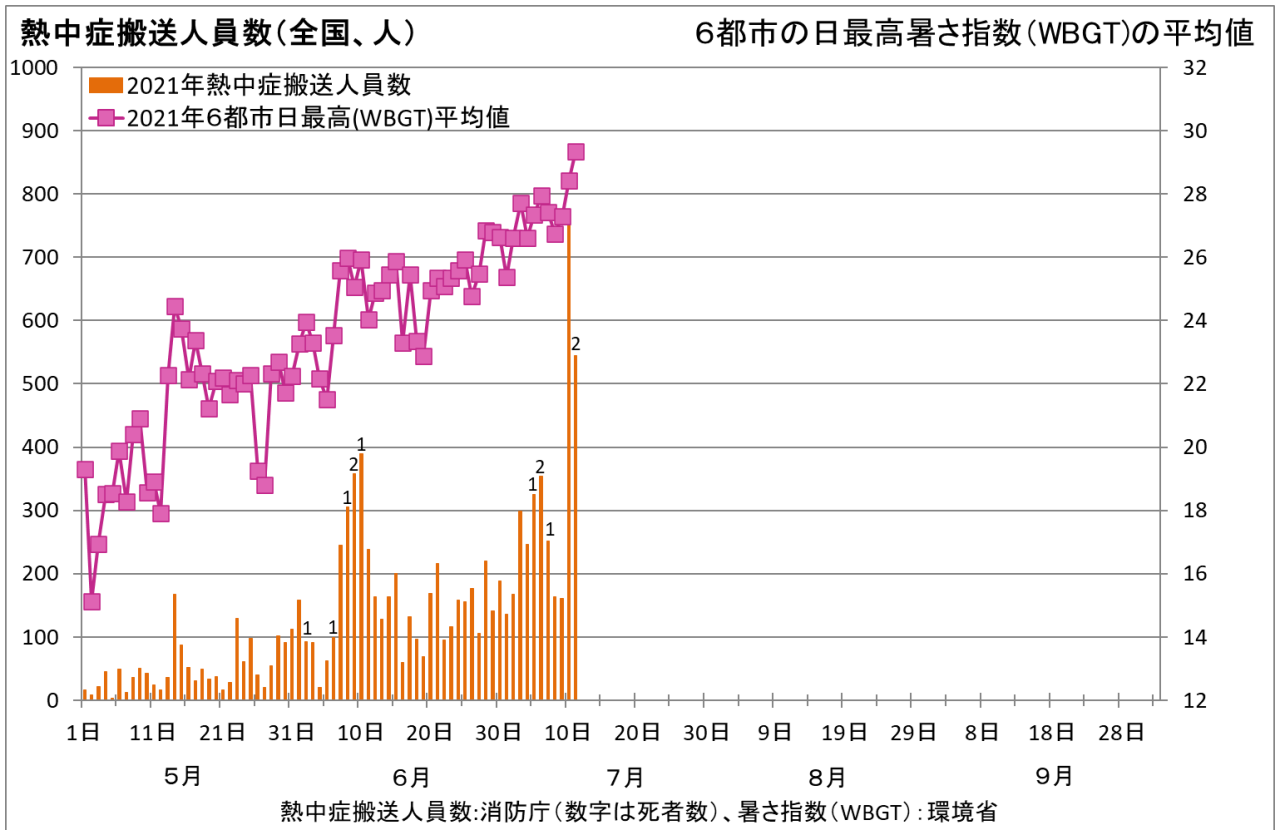


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と熱中症搬送人員数の推移

7月5日から7月11日までの6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、「警戒」を示す25以上が続きました。(表1、図1)。

消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送人員数は、7月10日の768名が最高で、この期間の総数は2,568人(死者6名を含む)となりました(図2)。

### 3. 全国の熱中症警戒アラートの発表状況

7月5日から7月11日までの全国の熱中症警戒アラート発表状況をお知らせします。この期間のアラート発表は、関東甲信でのべ2回、東海でのべ2回、近畿でのべ2回、中国でのべ1回、四国でのべ3回、九州北部でのべ4回、九州南部でのべ9回、沖縄でのべ10回でした（表3）。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況（7月5日から7月11日）

地方 <sup>※1</sup>	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均 <sup>※2</sup>	0	0	0.2	0.5	0	0.3
のべ回数	0	0	2	2	0	2
地方 <sup>※1</sup>	中国	四国	九州北部 <sup>※3</sup>	九州南部・奄美	沖縄	
域内平均 <sup>※2</sup>	0.3	0.8	0.7	3	2.5	
のべ回数	1	3	4	9	10	

※1：気象庁の地方予報区単位（別図参照）

※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」

回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3：九州北部には山口県も含まれる

### 4. 今後の見通しと注意点

7月16日までは、全国的に「厳重警戒」を示す28以上、東北地方以南では「危険」を示す31以上となる地点がある見込みです。

気象庁の週間天気予報（7月14日発表、予報期間：7月15日～7月21日）によると、「最高気温と最低気温は、北日本から西日本にかけては平年並か平年より高い日が多く、北日本では平年よりかなり高い日もある見込みです。沖縄・奄美は、平年並か平年より低いでしょう。」となっております。

○全国的に梅雨明けを迎える頃となりました。身体が暑さに慣れていないため、熱中症にかかりやすく、例年救急搬送される方が多い時期です。引き続き熱中症に十分お気を付け下さい。

別図：気象庁の地方予報区・府県予報区の区分について  
(気象庁提供図を補足)

北海道		宗谷				
上川・留萌		網走・北見・紋別				
石狩・空知・後志		十勝	釧路・根室			
胆振・日高						
渡島・檜山						
				青森		
				秋田	岩手	
				山形	宮城	
		北陸		福島		
		石川	富山	新潟		
		福井	岐阜	長野	群馬	栃木
		中国		山梨	埼玉	茨城
		山	島根	鳥取	兵庫	京都
		山口	広島	岡山	兵庫	大阪
		九州北部		滋賀	奈良	三重
				和歌山	東海	
						愛知
						静岡
						東京
						神奈川
						千葉
						近畿
						愛媛
						香川
						高知
						徳島
						四国
						九州南部
						長崎
						佐賀
						福岡
						熊本
						大分
						鹿児島
						宮崎
						奄美
						沖縄
						沖縄本島
						八重山
						宮古島
						大東島